

もし24時間以内に巨大地震等の災害が発生したら…

# あなたの会社は 事業を継続・再開できますか？

—— 事業継続計画 **BCP** 策定のご案内 ——



[出典] 1.5.6. 宮城県仙台市 2. 岩手県山田町 3. 宮城県多賀城市 4. 宮城県名取市



高知県内事業者の皆様 !!

# 災害・事故に備えて 事業継続計画 (BCP) の策定を!

高知県内で甚大な被害を及ぼす災害や事故等が発生した場合、多くの県内事業者や地域経済全体がその影響を受けることが想定されています。

まずは「事業継続」によって、各事業者が自社を守ることが対策の第一歩です。

事業継続計画 (BCP) とは  
災害や事故の際、あなたの会社の事業を  
中断させないための計画です。



## 建物の被害

市街地中心部の3階建てスーパーも完全に被災した。(出典:岩手県陸前高田市)



## 火災

地震・津波後に発生した火災  
(出典:岩手県山田町)

## 燃料の不足

ガソリンを求める長蛇の車列。渋滞の原因となり緊急車両や工事作業車の妨げとなった。  
(出典:宮城県仙台市)



## 津波

南蒲生浄化センターでは、津波が押し寄せ、職員等101人が管理棟の4階屋上に避難した。  
(出典:宮城県仙台市)



## 物資の不足

スーパーマーケットの入場制限に順番を待つ人々(出典:宮城県仙台市)



## 屋内の被害

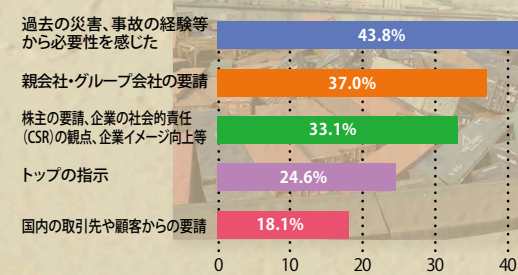
名取市図書館のカウンター部分。建物が古かったこともあり、地震動による被害で使用不能となった。  
(出典:宮城県名取市)

## 全国的にBCP策定が広まっています。

今、BCPを作っておくと――

- 巨大地震について従業員の意識が高まる
- 自社の経営戦略の見直しにつながる
- 災害時に混乱する状況下での優先業務が整理できる
- 災害時における取引先との連携事項がわかり、今から調整ができる

### 「BCPを策定するに至った理由」(抜粋)



「平成25年度企業の事業継続及び防災の取組に関する実態調査」(内閣府防災担当、平成26年7月)より ※上位5つを抜粋

## 一緒にがんばりましょう! 高知県知事 尾崎 正直

本県では、今後30年以内の発生率が「70%程度」とされている南海トラフ地震に備え、行政のみならず事業者や住民の皆様を含めた、地域社会全体が一体となって防災・減災に取り組んでいます。

なかでも、経済活動の中心である事業者の皆様が、地震発生後、早期に事業活動の再開を実現するためには、事前に「事業継続計画 (BCP)」を策定しておくことが大変重要になってきます。

このため、県では官民協働で「BCP策定推進プロジェクト」を立ち上げ、講演会や勉強会の開催、事業者の皆様への個別支

援等を行っており、「事業継続計画 (BCP)」を策定される事業者も増えてきています。

今回、県では、より多くの事業者の皆様が「事業継続計画 (BCP)」について関心を持っていたくよう、「事業継続計画 (BCP)」の策定についてわかりやすく解説したパンフレットを作成いたしました。

このパンフレットをきっかけに、多くの事業者の皆様が、「事業継続計画 (BCP)」の策定を行っていただくことにより、事業者の皆様が防災・復旧対策の向上、震災に強い地域社会の実現につなげてまいりたいと思います。





# BCP策定の手順 1

## BCP策定宣言～着手 編

じっくり時間を  
かけるとこんな感じ

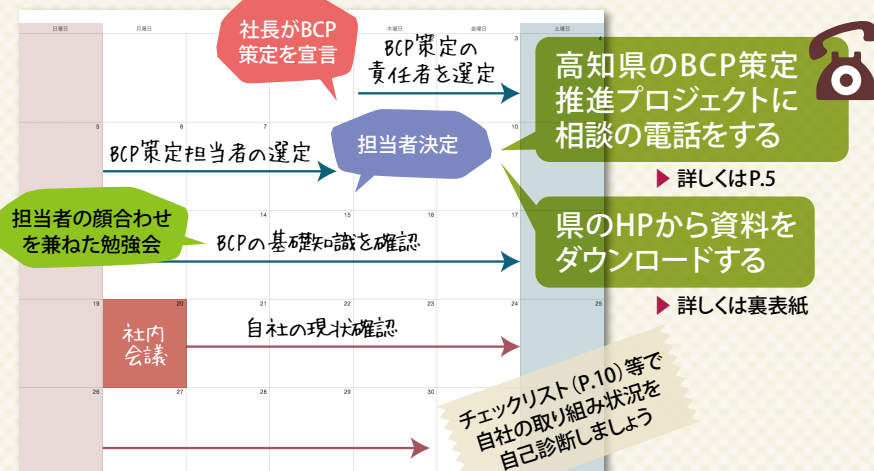
下記の事例は6ヶ月ですが、策定期間に特に決まりはありません。無理のないスケジュールを組みましょう。

### ある企業のBCP策定 スケジュール ～6ヶ月プラン～

#### 1ヶ月目

##### BCP策定準備

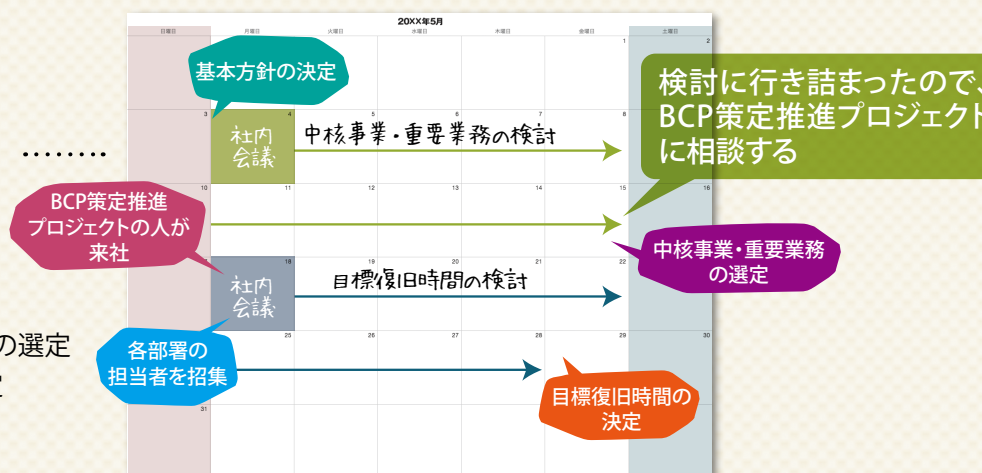
- BCP策定の決定
- 策定担当者の決定
- BCPの基礎知識を確認
- 自社の現状確認



#### 2ヶ月目

##### BCP策定 -1

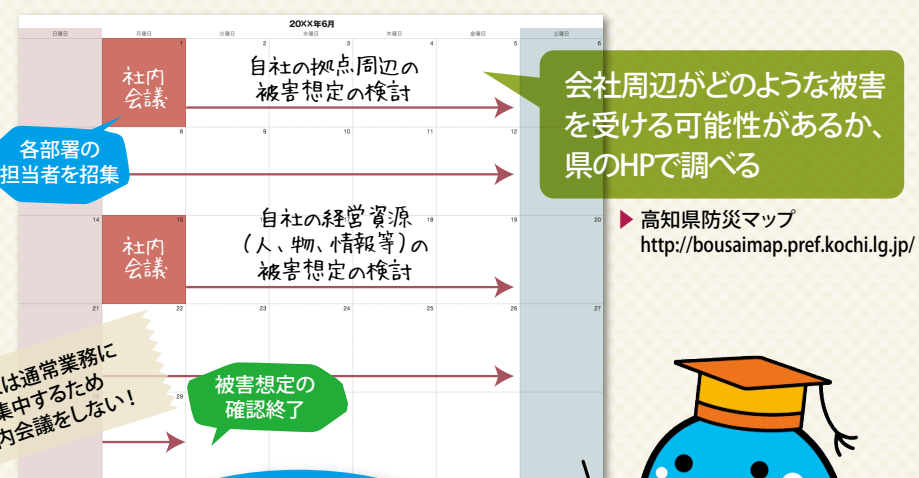
- 基本方針策定
- 中核事業・重要業務の選定
- 目標復旧時間の決定



#### 3ヶ月目

##### BCP策定 -2

- 被害想定の確認

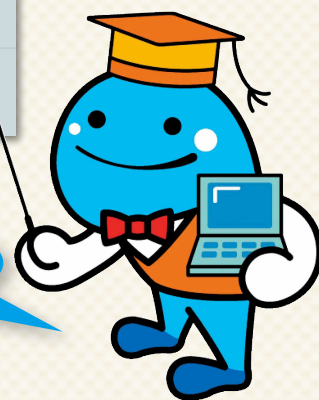


最初の一步が  
踏み出せないん  
ですよ...

月末は通常業務に  
集中するため  
社内会議をしない!

たくさんの企業が  
県のBCPセミナーや  
策定支援の枠組みを活用して  
完成させていますよ

裏表紙をチェック!



## 高知県内の事業者の声

策定の  
きっかけは?

策定担当者の  
選定は?

### 業界団体のBCP策定セミナーを活用。 できる対策から取り組んでいます。

陸運業  
相互物流  
株式会社

#### ●策定のきっかけは?

トラック協会が募集したBCP策定セミナー(計4回)に参加し、策定を進めました。

BCP策定は難しい面も多々ありますが、大変な時にどういうふうに会社が生き残るか、という自分たち自身の問題です。他の人より先に策定することに価値があると考えました。

#### ●どなたが担当されましたか?

策定担当者(常務)と社長がセミナーに参加し、打ち合わせをしながら進めたため、意思決定時に迷うことが少なかったです。



#### ●苦労した点がありますか?

BCPが直接利益に結びついていない点です。各種対策については、限られた時間や予算を、毎月調整しながら取り組んでいます。例えば、今月は予算がつけられるので、非常食を計画の5割分購入しよう、というふうに少しずつ進めています。

### 個別アドバイスを受けながら作成。 取引先からのお問い合わせに対応中!

医療機器  
販売業  
株式会社  
シーメック

プロの目

#### BCP策定は、「少しずつ」 そして「着実」に

BCP策定や地震対策等における共通の悩みは、「時間や予算が必要」となることです。

既に策定済みの企業では、自社の状況に合わせて、県の支援(裏表紙参照)を活用することで、BCP策定を進めています。

また、担当者の選び方もよいですね。(P.8参照)

#### ●策定のきっかけは?

小さなチームで防災マニュアルに着手していましたが、行き詰まっていた時に、県のBCP策定推進プロジェクトの存在を知り、支援を受けました。定期的に約10回の訪問を受け、雛形に沿って宿題形式で進めました。

#### ●どなたが担当されましたか?

担当役員1名と実務担当者2名の3名体制です。

#### ●BCPを策定してよかった点は?

弊社は、「策定済み企業」ということで取引先より一定の評価をいただいております。

今後も課題を一つ一つ解決しながら、BCPの強化に一層努力してまいります。



なるほど!  
BCP策定推進  
プロジェクト※という  
ものがあるんですね!

※ 県内企業のBCP策定を支援することを目的に、平成22年6月に、高知県と高知商工会議所、TKC 四国会高知支部、東京海上日動火災保険株式会社、日新火災海上保険株式会社の5者で協定を締結



## BCP策定の手順 2

# BCP検討～文書化 編

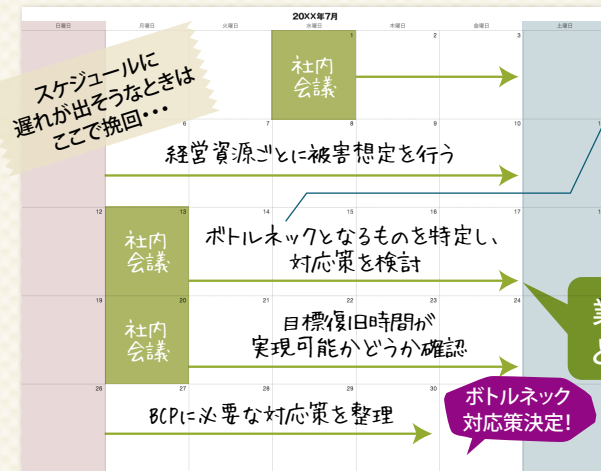
じっくり時間を  
かけるとこんな感じ

ある企業のBCP策定  
スケジュール ～6ヶ月プラン～

📌 4ヶ月目 .....

### BCP策定 -3

- ボトルネックへの対応策の検討



● ボトルネックとは  
復旧の制約となる重要な要素のこと

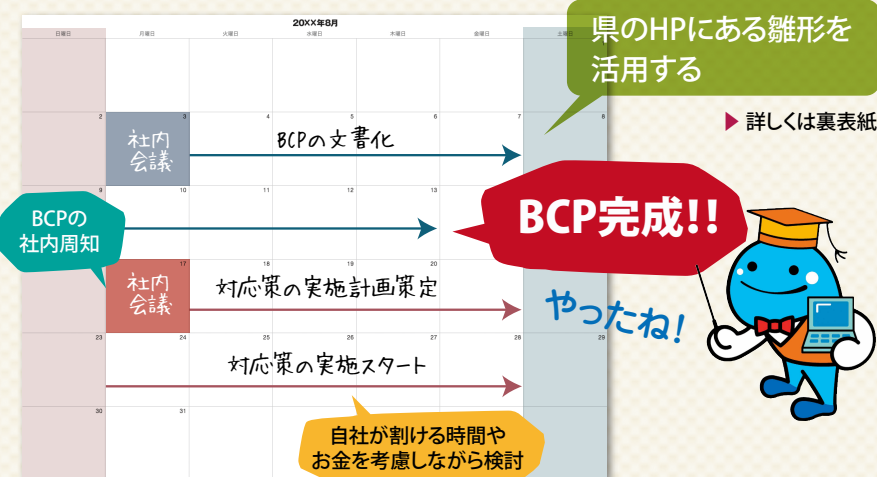
例: (人) 特殊技能者Aさん  
(物) 機械B  
(インフラ) 電力

業界団体に問い合わせたところ、参考資料がもらえた

📌 5ヶ月目 .....

### BCP策定 -4

- BCPの文書化
- 対応策の実施計画策定
- 対応策の実施スタート



📌 6ヶ月目 .....

### BCP完成後

- 社内教育・訓練の検討
- 他社との連携について検討
- BCPの点検・見直し



最初から  
“完璧なBCP”  
を求めなくても  
OK!

まずはいったん  
完成として、  
“本番で使えるように”  
少しずつレベルアップして  
ください

完璧なBCPを  
作ることに  
こだわりすぎないほうが  
よいですね!

## 高知県内の事業者の声

苦労した点は?

策定して  
よかったことは?

特殊車両  
製造業  
兼松エンジニアリング  
株式会社



プロの目

最初は雛形を埋める  
レベルでも大丈夫

まずはBCPを文書レベルで  
完成、としてしまうことも一案  
です。

紹介した事業者は、BCPを  
踏まえて、今後やるべきことや  
課題を整理し、実施時期を明  
確にしている点や、優先順位  
をつけて取り組みを進めてい  
る点が優れています。

また、BCP策定がお客様や  
取引先からの信頼獲得につな  
がっている様子も伺えます。

課題をランク分けし、実施時期を  
明確にして取り組んでいます。

#### ● 苦労した点がありますか?

色々検討しているうちに、どこまで  
やればいいのかわからなくなることが  
ありました。また、自社だけの対応  
では限界があるため、取引先との連  
携をどのように展開するかが今後の  
課題です。

#### ● BCPをビジネスに活かしている 点がありますか?

BCP含め、リスク管理体制に万全  
を期していることを積極的にアピー  
ルし、IR活動に役立てています。



#### ● 現在の取り組み状況は?

現在は、BCP策定で出た課題を分  
析して、項目毎に難易度別でランク  
分けをし、実施時期を明確に定めて  
一つ一つ解決しています。この分析  
によって必要な投資額が明確とな  
り、社内決裁に役立っています。

参考例を利用しな  
がら、策定しました!

小売業  
株式会社  
サンシャイン  
チェーン本部

#### ● 参考にしたものはありますか?

商工会議所が実践しているという、普段から車の  
燃料が半分になったら給油するルールには、なるほ  
どと思いました。また、業界団体が作ったマニュアル  
から、「何が一番必要な品物か」「営業再開した時に  
何が売れたのか」を参考にしました。

#### ● 苦労した点がありますか?

安否確認システムを導入しましたが、年配者が多い  
ため、Eメールアドレス登録  
に時間がかかっています。  
また、迷惑メール設定ではじ  
かれる場合もあるので、個別  
のサポートが必要です。



取引先と相互理解  
が深まりました!

陸運業  
高知県トラック  
団地事業  
協同組合

#### ● BCPを策定してよかった点は?

BCP策定をきっかけに他業種・業界との連携が進  
みました。普段のお仕事をいただく立場とは別の立  
場で交流できたことがよかったです。

#### ● 苦労した点がありますか?

BCP策定よりも実  
際の対策が難しい  
点です。非常用発電  
機や衛星携帯電話  
の整備を段階的に  
進めています。





# あなたの会社は、 どのように策定しますか？

さあ！  
いよいよ実践！！

## 検討のポイント

### 期間はどのくらいかかるの？

#### 👍 長期戦か短期戦か自社に合ったスケジュールを組む

右ページを参考に実施スケジュールを策定します。策定期間に特に決まりはありません。それぞれの企業の状況に合わせて柔軟に決めましょう。

- じっくり内容を検討したい企業は6ヶ月くらいが目安となります。社内で調整を行いながら、策定を進めましょう。
- 担当者が忙しく、時間もかけられない、という場合は、まずは文書を作ることを目標に3ヶ月ほどで作るとよいでしょう。



### どんな人が担当するの？

#### 👍 決定権者（経営層など）と実務担当者の組み合わせが理想

社内の業務に詳しく、各部署に対し顔が広い人が向いています。この他に、経営層等の決定権を持っている人が関わりながら進めるのが理想です。BCP策定には時間と労力が必要ですので、策定担当者の負担が大きくなりすぎないように配慮があると検討がスムーズに進みやすくなります。

- 50人未満の事業所では、2～3名程度でスピードを重視して進めましょう。
- 50人以上の事業所では、策定途中に（右表の6番以降）各部署の意見を盛り込むための社内会議をするとよいでしょう。



#### プロの目

県のBCPセミナー等を活用すれば  
時間短縮で、ノウハウも補強！！

詳しくは  
裏表紙

県が実施したアンケートでは、「スキルやノウハウがない」、「時間的な余裕がない」、「人手を確保できない」との声が上がりました。

県のBCPセミナーや個別相談などを活用すると、指導を受けながら短期間で確実に策定できるメリットがありますので、積極的に活用しましょう。

チラシを見たのがきっかけで相談しましたが、社内体制についてのアドバイスや、策定スケジュールを一枚にまとめた資料が役に立ちました！

【小売業】株式会社サンシャインチェーン本部



## BCP策定スケジュール

サンプル

BCPの策定準備

1

策定担当者を決定、招集する。

社長 策定担当者

2

BCP策定に関する基礎知識を確認する。

BCPがなぜ必要なのか、過去の震災の事例等

社長 策定担当者

3

自社の現在の取組状況について確認する。

▶ P.10のチェックリストが活用できます。

社長 策定担当者

4

基本方針を策定する。

自社におけるBCPの目的を確認し、BCP策定途中や地震等で事業が中断した際に対応の指針となる「基本方針」を策定する。

社長 策定担当者

5

中核事業・重要業務を選定する。

被災時においても継続または早期復旧を目指す事業・業務を絞り込む。

社長 策定担当者

6

目標復旧時間を決定する。

中核事業・重要業務をいつまでに復旧させるのか検討し、目標復旧時間を決定する。

社長 策定担当者

必要に応じて  
関わる

各部署

7

被害想定を確認する。

高知県や国の被害想定等を参考にして、自社の所在地や経営資源がどのような被害を受けるのか想定を行う。

社長 策定担当者

必要に応じて  
関わる

各部署

8

ボトルネックへの対応策を決定する。

ボトルネックを特定し、どこから重点的に事前対策を実施すればよいのか明確にして対応策を検討する。

社長 策定担当者

必要に応じて  
関わる

各部署

9

BCPを文書化する。

これまで検討・決定した事項をもとに、BCPの雛形等を活用して文書化する。検討の過程や理由がわかる資料も次回更新時のために残しておく。

社長 策定担当者

必要に応じて  
関わる

10

対応策に着手する。

BCPで検討した対応策のうち、できることからスタートする。

社長 策定担当者

必要に応じて  
関わる

各部署

11

完成後のステップに進む。

まずはBCPを完成とし、社内教育・訓練を実施する。点検・見直しにより、レベルアップしていく。

社長 策定担当者

必要に応じて  
関わる

各部署

BCP運用

3ヶ月プラン  
での策定期間

1ヶ月目  
1ヶ月目

6ヶ月プラン  
での策定期間

1ヶ月目後半～2ヶ月目前半

2ヶ月目

2ヶ月目後半～3ヶ月目前半

3ヶ月目～4ヶ月目

5ヶ月目～6ヶ月目

3ヶ月目後半



## あなたの会社の取り組み状況を確認してみましょう — 自社の取り組み状況診断チェックリスト —

| 区分                                                                                                | 質問項目                                      | はい | いいえ |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|----|-----|
| <b>人</b><br>     | 1 地震・津波が発生した時の身を守るための行動について決めていますか。       |    |     |
|                                                                                                   | 2 避難訓練等の防災訓練を1年に1回は実施していますか。              |    |     |
|                                                                                                   | 3 従業員の安否確認の仕方については決めていますか。                |    |     |
|                                                                                                   | 4 災害発生時に指示を出す責任者は明確ですか。                   |    |     |
| <b>施設・設備</b><br> | 5 自社の建物がどの程度の震度に耐えられるか知っていますか。            |    |     |
|                                                                                                   | 6 事業に甚大な影響を与える機器の転倒・損壊防止策を行っていますか。        |    |     |
|                                                                                                   | 7 オフィス家具等の転倒・落下防止策を行っていますか。               |    |     |
|                                                                                                   | 8 災害時の備蓄品(食料・飲料水・救急用品・毛布等)は用意していますか。      |    |     |
|                                                                                                   | 9 電話・電気・ガス・水道等のライフラインが止まった時の対応策は決めていますか。  |    |     |
| <b>物流</b><br>    | 10 災害時に使用する輸送手段を考えていますか。                  |    |     |
|                                                                                                   | 11 在庫状況は管理できていますか。                        |    |     |
| <b>情報</b><br>   | 12 事業継続に必要不可欠な重要資料・データ等は何か把握していますか。       |    |     |
|                                                                                                   | 13 特に重要な資料・データ等は特別な保管方法(バックアップ等)をとっていますか。 |    |     |
| <b>資金</b><br>  | 14 災害時に最低限必要な運転資金を把握していますか。               |    |     |
| <b>事業継続</b>                                                                                       | 15 災害時に最低限、実施すべき重要業務を決めていますか。             |    |     |

**チェックリストで「はい」の数が7個以下でした。**

**会社としての準備がまだ初歩段階のようです。**

「なぜBCPが必要か」ということについて議論をしてみてもいいかもしれません。チェックリストの内容のうち、すぐに着手できることからまずは取り組んでみましょう。

**チェックリストで「はい」の数が8～11個でした。**

**防災や事業継続の対策について検討を進められているようです。**

しかし、まだ十分とは言えず、今の状態のままでは、従業員の安全や重要な事業を守れないかもしれません。さらに検討を進めて、あなたの会社の特徴を盛り込んだBCPを策定してください。

**チェックリストで「はい」の数が12～15個でした。**

**取り組みがかなり進んでいますが、BCPに「終わり」はありません!**

あなたの会社がどんな災害時にも事業を継続できるという自信はありますか? 点検・見直しをしながら、より実効性の高いBCPを目指してください。

## BCPが 役立った事例

高知で

東北で

BCP策定が  
信頼や安心に  
つながるの  
ですね!

小売業  
株式会社  
サニーマート

### 大型台風の際に、対策本部を立ち上げ、 訓練以上の充実感と成果を感じました!

#### 社内交流が活性化!

BCP策定後に、マネージャークラスを対象に図上訓練を行いました。訓練をしたことで、災害時の対応における会社としての基準の必要性について理解を得ることができました。

また、店舗毎の訓練も行っています。それに加え、各店のメンバーを集めた訓練を実施したことで、店舗間のコミュニケーションが活発になりました。

#### 地震以外の災害にも 効果がありました!

大型台風接近の際に、訓練を兼ねて災害対策本部を立ち上げました。初めての試みでしたが、台風に伴う事象への対応をスムーズに検討することができ、訓練以上の充実感と成果(課題の抽出も含め)を得ることができました。地震に限らず、従業員の危機管理に対する意識が高まっているのを感じます。



### 東日本大震災でBCPを発動しました!



宮城県仙台市の鈴木工業では、緊急事態に備えて平成20年よりBCPの検討を開始。きっかけは、平成19年の新潟県中越沖地震で自動車部品メーカーが被災したため部品供給が停止し、自動車メーカーの生産ラインも停止したとの報道が大々的になされたことや、宮城県沖地震の発生が30年以内に99%と公表されていたためです。

| 震災当日                                                                                                                                                         | 震災翌日                                                                    | 3日目                                        | 復旧                                                                                                                                                                    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成23年3月11日に東日本大震災が発生し、地震発生40～50分後に社長からの一言でBCPを発動した。本社とリサイクル施設は地震により損壊、中間処理施設の事務所や施設内の主要設備は津波で流出した。余震が続き、マニュアルは崩れたロッカーの中で見つけれない状態の中、研修で覚えた手順に従い従業員の安否確認等を行った。 | 震災翌日から、事前に準備していた衛星携帯電話を使い、行政やお客様に緊急作業の要否調査を開始。県外の焼却炉メーカーには被災状況の確認を要請した。 | お客様の緊急清掃作業を開始。人工透析を行っていた病院から後日、感謝状の授与に至った。 | 大きな津波の被害を受けた中間処理施設が復旧するまでの間は、県内外の同業他社の協力を仰ぎ、病院や他から排出された廃棄物を運搬し、事業を継続した。衛星携帯電話機の準備と大容量発電機の速やかな確保により、水処理施設は25日目から稼働し、焼却炉も当初の復旧見込みの90日を大幅に短縮した38日目に稼働することができ、早期に復旧を果たした。 |

従業員がBCPをよく理解していたため、震災時に一丸となって事業継続ができました



産業廃棄物処理  
およびリサイクル  
上下水施設の清掃・  
メンテナンス等  
鈴木工業  
株式会社



# 県内事業者のBCP完成までをご支援します!

## BCPセミナー

BCPの必要性や策定要領について、雛形を用いながら解説するBCPセミナーを開催しています。

ご要望により、各団体への講師の派遣等も行っています。



## BCP手引き

高知県では、「南海トラフ地震に備える企業のBCP(事業継続計画)策定のための手引き【改訂版】」を作成しています。

別冊はWord文書となっており、雛形として使えます。



ダウンロードは  
こちらから!

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/151401/bcp-tebiki.html>

## 個別相談

「自社の事業が複雑で、雛形どおりにはいかない」といったお悩みがある場合には、個別相談(訪問希望を含む)を受け付けています。まずは、ご連絡ください。



## 事業継続計画(BCP)策定支援のご案内



問い合わせ先

高知県商工労働部商工政策課

 **088-823-9692**

メールアドレス 151401@ken.pref.kochi.lg.jp